

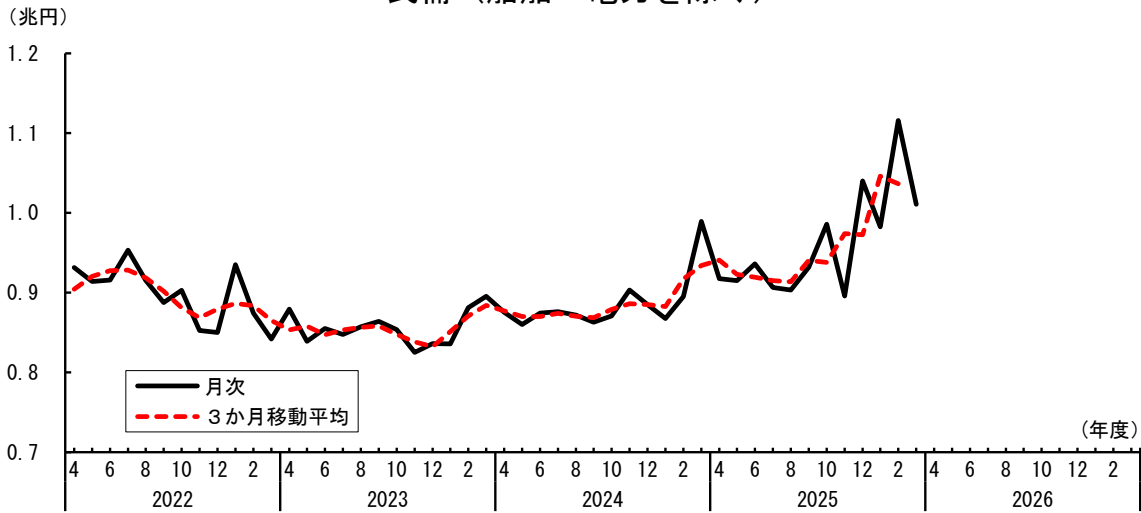
機械受注統計調査(令和8(2026)年3月実績及び令和8(2026)年4~6月見通し)
結果の概要

—機械受注は、持ち直しの動きがみられる—
(基調判断据置き)

○ 民間設備投資の先行指数である「船舶・電力を除く民需」は、3月は前月と比較して9.4%減少し、2か月ぶりの減少となった。

○ 3月の減少は先月の大幅な増加の反動が要因であることに加え、3か月移動平均の前月比は小幅なマイナス(前月比0.9%減)にとどまっていることを踏まえ、基調判断は「持ち直しの動きがみられる」に据置きとした。

民需(船舶・電力を除く)



対前月(期)比

(単位:%)

需要者	2025年 (令和7年)			2026年 (令和8年)		2025年 (令和7年)	2026年 (令和8年)		
	4-6月 実績	7-9月 実績	10-12月 実績	1-3月 実績	4-6月 見通し	12月 実績	1月 実績	2月 実績	3月 実績
受注総額	△4.0	3.5	10.2	10.3	△1.8	19.8	△2.0	△5.0	4.3
民需	4.3	△1.3	6.2	2.6	3.0	21.8	△5.5	△1.8	△5.3
〃(船舶・電力を除く)	0.6	△1.0	6.6	6.4	0.3	16.1	△5.5	13.6	△9.4
製造業	△0.4	5.3	△0.8	10.0	△0.9	20.6	△12.5	30.7	△14.2
非製造業(除船・電)	1.5	△4.4	11.3	6.2	1.9	6.5	6.8	0.9	△6.0
官公需	△26.4	△14.7	57.7	△21.3	9.0	△4.7	△13.1	△19.0	△14.5
外需	△2.3	14.5	3.6	31.0	△8.1	35.5	0.2	△5.1	31.0
代理店	8.9	0.3	2.6	4.8	10.0	1.9	△3.0	7.2	6.9
民需(船舶電力を除く) 3か月移動平均	-	-	-	-	-	△0.1	7.5	△0.9	-

(備考) 1. 季節調整値による。季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
2. △印は減少を示す。
3. 見通しは2026年3月末時点の調査。